授業科目　カウンセリング技法

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
伊東　正裕	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

ソーシャルワーカーが社会福祉の各分野において効果的に心理援助を行うには、こころの相談としての広義のカウンセリングを十分に学んでおく必要がある。この授業では、福祉の現場において適切に心理援助を実施するために、「カウンセリング論」で学習したカウンセリングの基本的な態度や技法をふまえ、ロール・プレイングや事例検討を通して、来談者の心理的問題の理解や解決に向けた実際的な技法を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．社会福祉におけるカウンセリングの意味・目的について説明できる。
2．社会福祉におけるカウンセリングの対象と、各分野における課題について検討し、説明できる。
3．社会福祉における心理援助の事例について、グループで実際的に検討することができる。
4．クライエントへの適切な係わり方について、ロール・プレイングを用いて具体的に検討することができる。
5．社会福祉の各分野で、適切に心理援助やカウンセリングを行うことができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会福祉におけるカウンセリングの意味・目的	1	講義
2	社会福祉におけるカウンセリングの対象と課題	2	講義
3	カウンセリング技法の学び方	3、4	講義
4	ロール・プレイングと事例検討	3 ～ 5	講義・ワーク
5	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃
8	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃
10	〃	〃	〃
11	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃
13	〃	〃	〃
14	〃	〃	〃
15	まとめ	1 ～ 5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	福祉現場のロール・プレイング	伊東正裕	久美出版	2008・1,900 円
参考書	面接法（追補版）	熊倉伸宏	新興医学出版	2003・1,500 円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】
・授業の参加状況
・提出物の提出状況
・期末レポート
以上を総合的に評価する。

【履修上の留意点】
この授業は、原則として２年次に「カウンセリング論」を受講した学生を対象とする。未受講の場合は上の参考書を通読しておくこと。
また精神保健福祉士の受験資格を取得しようとする学生は履修することが望ましい。
グループワークやロール・プレイングを中心に行うので、積極的に参加すること。